

街道観光実践オンラインセミナー

第4回組織づくりと運営(応用編)

街道観光づくりのための組織は、地域づくりのための組織

MRI 三菱総合研究所

2023年2月22日

スマート・リージョン本部 観光立国実現支援チームリーダー／主席研究員

宮崎俊哉

街道観光セミナーの目的[あらためて]

- 観光に関する基本的な内容（第1回、第2回）から**地域における組織づくりと運営（第3回、第4回）**、情報発信（第5回）、必要な資金の確保・運用という専門的な内容（第6回）について実践型で学ぶことにより、
- 「街道観光」を推進する**一助にしていく。

街道観光とは何か[1委員としての私見]

- 街道観光は、**地域の歴史に基づき**、いままで**地域に受け継がれた観光資源**を将来につないでいく観光
- すなわち、**地域の住民**（老人、大人、子供、男性、女性、、、）**みな**が、**地域に関心と自信（シビックプライド）を持ち、観光づくりだけでなく、地域づくりに関わるもの**

本日の講演について

第3回

第4回／復習・事例報告

Think⇒Think&Act

	開催日	開催セミナー(仮題)	講師
第1回	1/11(水) 15:30~	地域資源のを見つけ方	高橋 佑司 氏 (株)リクルート じゃらんリサーチセンター グループマネージャー
第2回	1/27(金) 15:30~	旅行商品の作り方	
第3回	2/8(水) 15:30~	組織づくりと運営 (基礎編)	宮崎 俊哉 氏 (株)三菱総合研究所 地域創生事業本部観光立国実 現支援チームリーダー 主席研究員
第4回	2/22(水) 15:30~	組織づくりと運営 (応用編)	
第5回	3/8(水) 15:30~	効果的な情報発信とは(仮)	山崎 まゆみ氏 跡見学園女子大学 兼任講師
第6回	3/17(金) 15:30~	財源の確保と運用について(仮)	桐明 幸弘 氏 (株)インテグリティサポート 代表取締役社長

組織づくりの課題(あらためて)

➤組織体制

- ✓そもそもどのような組織にするか。複数の組織の関係をどのようにつくるか。

➤目標・方針

- ✓長く続けるためには。活動がうやむやにならないためには。

➤人材

- ✓どのようなリーダーが必要か。フォロワーづくりはどのようにすればよいか。

➤インボルブ(巻き込み、参画)と意思決定の両立

- ✓住民を巻き込むには。意思決定をどのように行うか。

「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」による地域経営のステップ[復習]

https://www.jttri.or.jp/kanko_tebiki.pdf

①観光を活用した持続可能な地域経営の手引き

URL:https://www.jttri.or.jp/research/tourism/220322kanko_tebiki.pdf

②はやわかり 観光を活用した持続可能な地域経営の手引き

URL:https://www.jttri.or.jp/research/tourism/220322kanko_tebiki_hayawakari.pdf

⇒第3回でご紹介

③経営支援ツール(様式1～9) ※①P96、P148～158 ②P19 参照

URL:https://www.jttri.or.jp/research/tourism/220322kanko_tebiki_yoshiki.xlsx

⇒第4回・復習

「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」とは

- 一般財団法人運輸総合研究所／国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所、観光庁の3者によって作成
- UNWTOの「観光地のための持続可能な開発指標・ガイドブック」※の考え方に基づき、2020年度・2021年度の2か年をかけて、世界・海外の先進地域の実態を調査し、有識者委員会及び地域の皆さんの声を反映

※“Indicators of Sustainable Development for Tourism Destinations”2004



JTTRI
Japan Transport and Tourism Research Institute



国連世界観光機関
駐日事務所

はやわかり 観光を活用した 持続可能な地域経営の手引き

2022年3月

一般財団法人運輸総合研究所
国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所

ぜひ、“手引き”をご参照ください！（前回のまとめ）

➤ **Keyword**が重要。その具体的な示唆と進め方が「手引き」にある

➤ **組織の目標**をわかりやすいものとする

観光を活用した持続可能な地域経営の実現ステップ（詳細）

（観光を活用した持続可能な地域経営に取り掛かる準備）

- ✓ 観光を活用した持続可能な地域経営に取り組む意義・期待・取組の目的の明確化
- ✓ 既存の関連計画・施策・課題／指標・データの整理
- ✓ 他部署・関連事業者の参画活動

実現ステップ	地域のなりたい姿と課題を明確にする ステップA	ステップ1 対象地域を決める ステップ2 利害関係者を特定し、参画させる ステップ3 観光資源と「現状の課題」を洗い出し、把握する ステップ4 なりたい姿を共有し、「今後の課題」を明確にする
	解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する ステップB	ステップ5 重点課題を特定し、合意を形成する ステップ6 重点課題を解決する取組を検討し、共有する ステップ7 重点課題と解決する取組を踏まえ、指標を検討する ステップ8 指標を特定し、計測手法を具体化する
	指標を計測し、分析・評価し、公表、改善する ステップC	ステップ9 データを収集し、指標を計測する ステップ10 指標の推移を分析・評価し、取りまとめて公表する ステップ11 指標や経営体制を見直し、改善する

※ワークショップ運営ではファシリテーターが肝心(外注化も要検討)

➤ ①**組織体制** **Key Word** ワークショップ

- ✓ そもそもどのような組織にするか。複数の組織の関係をどのようにつくるか。

➤ ②**目標・方針** **Key Word** 目に見える課題設定／あるべき姿の共有

- ✓ 長く続けるためには。活動がうやむやにならないためには。

➤ ③**人材** **Key Word** 熱意あるリーダーとチーム組成

- ✓ どのようなリーダーが必要か。フォローづくりはどのようにすればよいか。

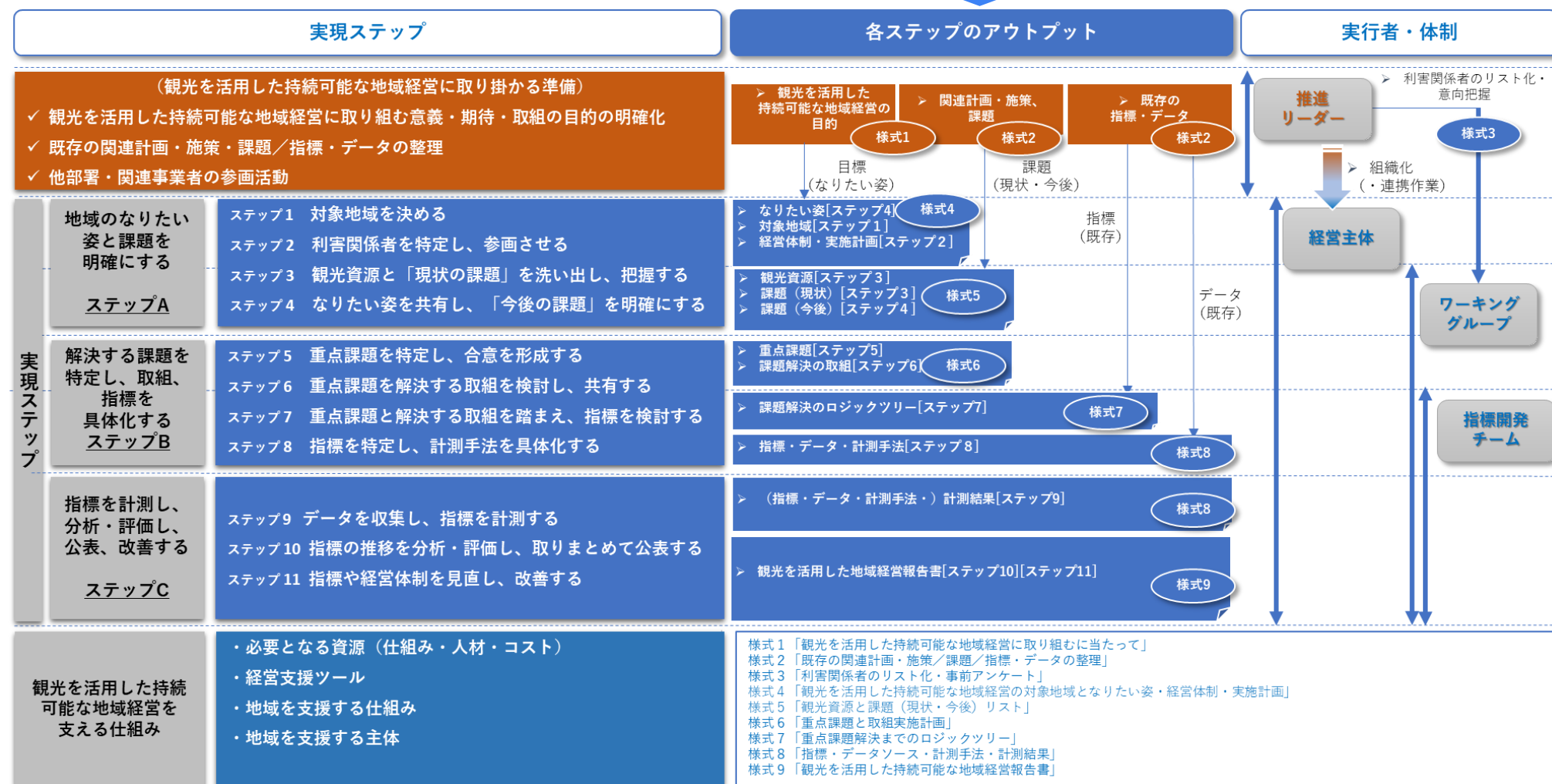
➤ ④**インボルブ(巻き込み、参画)と意思決定の両立** **Key Word** 指標・PDCA

- ✓ 住民を巻き込むには。意思決定をどのように行うか。

出所)「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」(一般財団法人運輸総合研究所／国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所)

経営支援ツール

経営支援ツール(様式1～9) ⇒ 実際にエクセルで



出所)「観光を活用した持続可能な地域経営の手引き」(一般財団法人運輸総合研究所／国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所)

地域における組織づくりの事例

※MRIの観察によるもので、当事者・関係者による見解ではありません

- 事前準備～リーダーによる取組ステップの整理／関係者のインボルブ
- 組織の運営～初年度の取り掛かり／2年目への展開
- これまでの成果

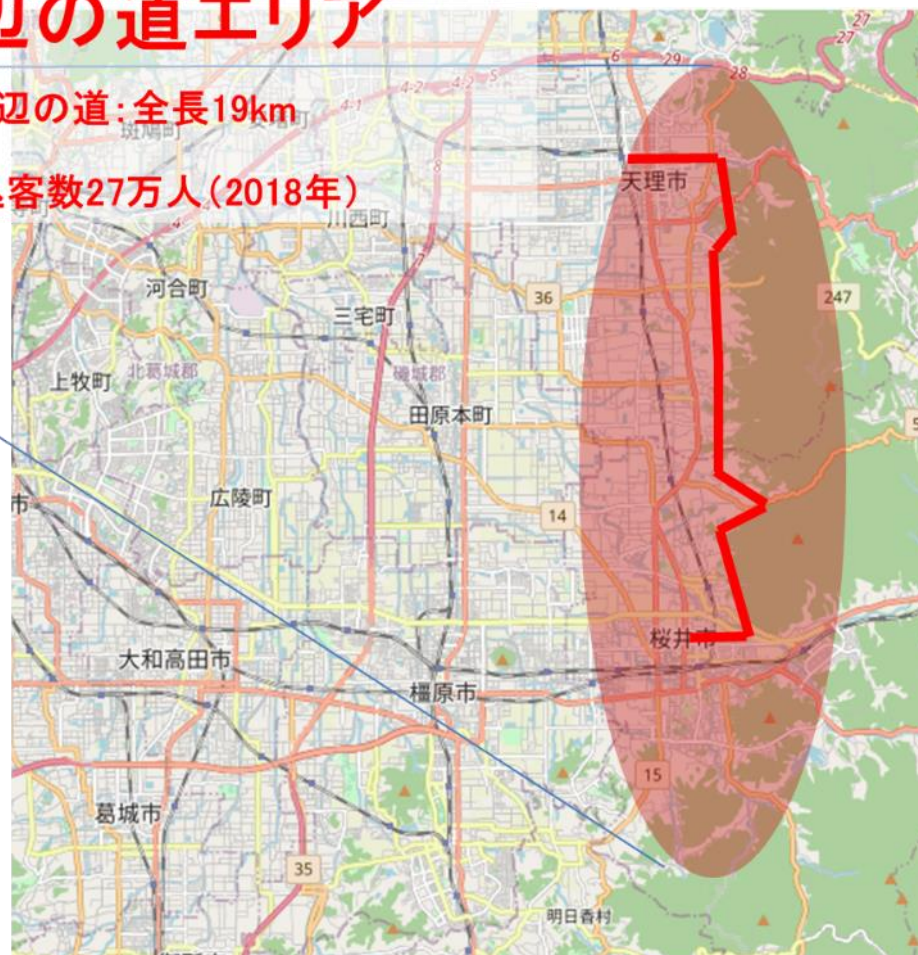
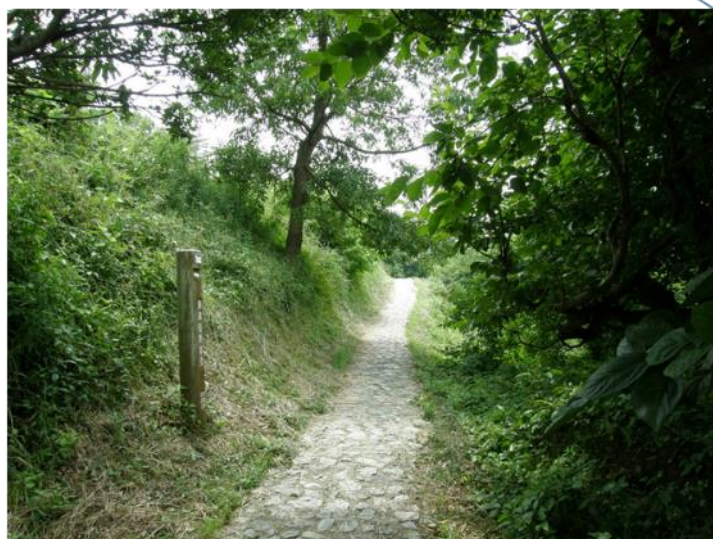
ご紹介する事例

- 奈良県が県内で持続可能な観光地域づくりを展開していくためのパイロットプロジェクト
“Yamanobe Project”



山の辺の道エリア

- ・山の辺の道: 全長19km
- ・観光入込客数27万人(2018年)



出所)「奈良県における『持続可能な観光地づくり』に向けたあり方～先人から受けついだ宝を将来につなぐために～」(2022年3月、奈良県観光局／国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所)

事前準備～リーダーによる取組ステップの整理／関係者のインボルブ

令和3年度の進捗

- 取組ステップと検討期間のめどを**わかりやすく**整理

※このPJの目標は(持続可能な地域経営なので)ワークショップのみで検討していく

➤ 関係者の特定と取組への参画

ゴール: なりたい姿

- ①「地域の宝」を整理する
- ②地域のなりたい「未来の姿」を洗い出す
- ③地域で解決しなければならない課題を整理する(観光面、社会・生活面)
- ④(③の課題の中から)「重要課題」を特定する

取組: ゴールに向かう課題解決

- ⑤「地域の宝」「未来の姿」「重要課題」から「コンセプト」と「地域の目標」をつくり、合意する
- ⑥「取組の方向性」を決める
- ⑦「具体的な取組」を決め、役割分担をする
- ⑧「指標(KGI・KPI)」を整理する

PDCAサイクルの実現
: 指標(KGI・KPI)の活用

- ⑨「具体的な取組」を「実行」する
- ⑩「指標(KGI・KPI)」を活用して状況を「確認し、共有し、取組等を改善」する

- (観光を活用した持続可能な地域経営に取り組む準備)
- ✓ 観光を活用した持続可能な地域経営に取り組む意義・期待・取組の目的の明確化
 - ✓ 既存の関連計画・施策・課題／指標・データの整理
 - ✓ 他部署・関連事業者の参画活動

地域のなりたい姿と課題を明確にする
ステップA

- ステップ1 対象地域を決める
ステップ2 利害関係者を特定し、参画させる
ステップ3 観光資源と「現状の課題」を洗い出し、把握する
ステップ4 なりたい姿を共有し、「今後の課題」を明確にする

解決する課題を特定し、取組、指標を具体化する
ステップB

- ステップ5 重点課題を特定し、合意を形成する
ステップ6 重点課題を解決する取組を検討し、共有する
ステップ7 重点課題と解決する取組を踏まえ、指標を検討する
ステップ8 指標を特定し、計測手法を具体化する

指標を計測し、分析・評価し、公表、改善する
ステップC

- ステップ9 データを収集し、指標を計測する
ステップ10 指標の推移を分析。評価し、取りまとめて公表する
ステップ11 指標や経営体制を見直し、改善する

出所)「奈良県における『持続可能な観光地づくり』に向けたあり方～先人から受けついだ宝を将来につなぐために～」(2022年3月、奈良県観光局／国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所)

事前準備～リーダーによる取組ステップの整理／関係者のインボルブ

➤ (そうはいうものの)PJの目標

「観光のチカラ」で持続可能な山の辺地域をつくる

➤ この思いを実現するため、問題意識が高い関係者をリストアップ

【STEP1】基礎自治体のキーパーソンとの意見交換 2021.7

【STEP2】基礎自治体のキーパーソンを通じ、活動している主体・関係者をリストアップ 2021.8

【STEP3】事前の意見交換(主体・関係者とマン・ツー・マン) 2021.9～10

【STEP4】第1回ワークショップ 2021.9末

組織の運営～初年度の取り掛かり／2年目への展開

➤ 第1回ワークショップ 2021.10末

ワークショップテーマ～再整理した取組ステップに沿って

①「地域の宝」

②「未来の姿」10年後／100年後

③未来の姿を実現するために解決すべき「重要課題」

➤ 第1回ワークショップにおいては、、、

リーダーが準備したものは。。。

ファシリテーターは。。。

議論は。。。

組織の運営～初年度の取り掛かり／2年目への展開

➤ 第2回ワークショップ 2022.2

ワークショップテーマ～再整理した取組ステップに沿って

①専門家の現地視察結果の報告・共有

②「未来の姿」10年後／100年後 “再”

③未来の姿を実現するために解決すべき「重要課題」の絞り込み “再”

➤ 第2回ワークショップにおいては、、、

リーダーが準備したものは。。。

ファシリテーターは。。。

議論は。。。

組織の運営～初年度の取り掛かり／2年目への展開

➤ 重要課題の明確化・共有

①景観保全

②観光客受入体制の整備

③参加型体験型観光コンテンツの整備

④情報発信の整備

⑤観光のチカラが地域に循環する仕組みづくり

⑥地元産業の担い手確保

⑦地元住民への意識啓発

➤ 総合コーディネーター(仮称)設置の検討

➤ 地域のインボルの強化

➤ KPIの検討

出所)MRI作成

これまでの成果

- 地域の宝の発掘・共有
- 重要課題の明確化・共有
- 地域のインボルブによる組織の成立



ヤマトタケルが最期に偲んだ後

たけは、國のほうは
たたく、水地
山に隠れる、体うるはし
たたく、水地
山に隠れる、体うるはし
たたく、水地
山に隠れる、体うるはし

（左側）
（右側）



出所)MRI撮影



出所)MRI撮影



出所)MRI撮影





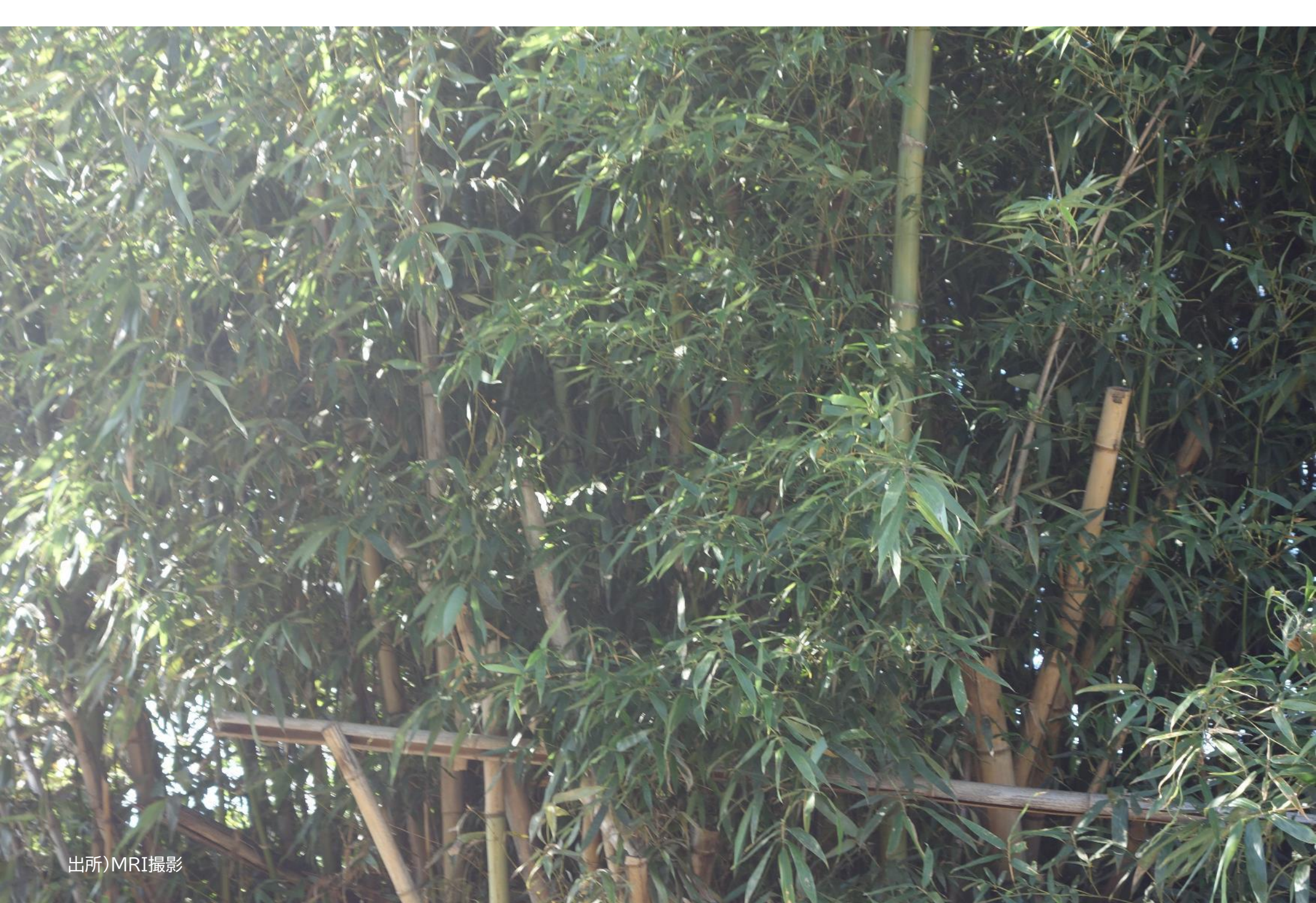
出所)MRI撮影



出所)MRI撮影



出所)MRI撮影



出所)MRI撮影



ヤマトタケルが最期に偲んだ後

たけは、國のほうは
たたく、水地
山に隠れる、休むるはし
たたく、水地
山に隠れる、休むるはし
たたく、水地
山に隠れる、休むるはし

これまでの成果

- 地域の宝の発掘・共有
- 重要課題の明確化・共有
- 地域のインボルブによる組織の成立

【景観的な魅力】 写真映え・インスタ映えするようなスポットが点在している

- ✓ 田んぼ、畑、農家、古民家、林道、素朴な風景
- ✓ 京都と違う豊かな自然
- ✓ 季節や時間帯(朝・夕)によって様々な表情の景色を見ることができる
- ✓ 抑揚があるシークエンスの変化
- ✓ 様々な有形・無形文化遺産を発見できる
- ✓ 自然や川の音色
- ✓ 奈良盆地を望める景観、眺望が開けているので、空が近い、西の山々(生駒山～金剛山)まで見渡せる
- ✓ 西の山々に沈んでいく夕日(二上山の間に落ちる夕日は特に有名)
- ✓ 竜王山からの景色(天気がいいと明石海峡大橋まで見渡せる)
- ✓ 関空や伊丹空港に降りていく飛行機が見れる(夜は特に綺麗)
- ✓ ササユリ、キツネノカミソリ、チョウゲンボウ等の豊かな自然
- ✓ 商店街の袋物店や乾物店などの懐かしく日本の古き良き商店

目指そう！

「住んでよし」「訪れてよし」
できます！

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所